

受験番号	
------	--

日本赤十字秋田看護大学大学院
看護学研究科 看護学専攻 修士課程

令和6年度 I 期 入学試験問題

〔小 論 文〕

【注意事項】

- 1 制限時間は60分です。
- 2 受験番号は、この表紙と解答用紙の全てに記載してください。
- 3 質問があるときは、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 4 解答用紙および問題文とも、持ち帰ってはいけません。

【問題】

あなたがある本を購入しようとしたところ、その本の紙印刷版と電子データ版（電子書籍*）が同じ価格で販売されていることがわかりました。紙の本と電子書籍のそれぞれの長所や短所について、およびあなたがこの本を購入する場合の選択とその理由を合わせて 800 字以内で述べなさい。（購入する本の分野を任意に想定することも可とします。）

* 電子書籍

紙媒体での出版ではなく電子データ化し、タブレットやスマートフォンなどの携帯端末、パソコン、あるいは専用の端末機器の画面で読めるようにした書籍。デジタル書籍、電子ブック、オンライン書籍などとも呼ばれる。文学作品、雑誌、学術書、辞書など、各分野で製品化されている。

設問の理由：

いわゆる Pros and Cons を問う問題で、題材は「紙の本」対「電子書籍」とした。

自身の使用経験をもとに記述してもいいが、それが主目的ではなく、あくまでも一般的な評価も含めた A 対 B の比較から選択に至る論理展開の構成力を問いたいので、仮に電子書籍の使用経験がない場合でも不利はないと判断した。それよりも形態を問わず書籍離れ自体が障壁かもしれない。しかし、本は学業や業務の場でも身近に存在するものであり、仮に受験者間で趣味としての読書習慣に差があったとしても、解答の評価に支障はないと考える。

解答や考え方の例：

紙の本と電子書籍のそれぞれのメリットとデメリットを挙げた上で、自身の選択とその理由を述べる、という構成になっているかを評価する。

電子書籍のメリットとして、対応する端末さえあれば膨大な冊数を持ち歩き、ほぼいつでもどこでも読めること、したがって時間を効率的に過ごせる、保管スペースの節約になる、データ（本の内容）自体の劣化がない、著作権切れなどの理由で無料の作品も多い、サブスクリプション（会費制で読み放題など）が紙の本より普及している、など。一方で、電子書籍のデメリットとして、対応する端末を必要とする、端末が故障すると読めない、原則として中古市場が存在せず貸本もない、紙の質感を味わえない、など。

紙の本のメリットとして、表紙やカバー・帯も含めて紙の質感がある、ページを繰る感覚に優れ、パラパラとめくこともできる、本屋で手に取って選べる、中古や貸本がある、など。紙の本のデメリットとして、劣化する、多くを持ち歩くのは困難で収納スペースも大きい、暗いところで読みにくい、など。（本問では価格は同一と想定した。）

紙の本か電子書籍かの自身の選択は自由だが、それぞれの特徴を元にした理由が明記されている必要がある。辞書を例にすると、電子書籍は目的の事項を効率的に検索できる利点があるのに対し、紙の本では予期しない事項が目にとまり知識を得る楽しみがある、というように、それぞれの特徴は表裏一体で人によって逆の選択に至る可能性もある。このように、購入しようとする本の分野を任意に想定してもよいこととし、本の種類によって選択が異なることもあり得るので、文学作品、学術書など複数の分野ごとの選択とその理由を列挙してもよい。